



### 毎日新聞社京都支局（旧京都大毎会館）

毎日新聞社京都支局は、昭和3年（1928）、武田五一の設計、大林組の施工により建築された。

意匠的には、正面外観の水平ルーバーによる水平線の強調にF.L. ライトの影響が感じられる。また、毎日新聞社章を応用したバルコニーの形状や、玄関左右のランプカバーの意匠は、クランク型に屈曲する直線が用いられており、アール・デコの影響が認められる。ここでは、国際建築様式成立直前のヨーロッパにおける二大流行がいち早く取り入れられており、意匠史の上から注目される建物であり、昭和58年6月1日、京都市登録有形文化財に登録された。（京都市）